

事業報告書

令和5年度

人間を救うのは、人間だ。

日本赤十字社京都府支部

目 次

写真で見る日本赤十字社京都府支部の活動

はじめに

	ページ
1. 災害救護活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
2. 赤十字の各種講習・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 1
3. 赤十字奉仕団・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 2
4. 青少年赤十字（J R C）・・・・・・・・・・・・・・・・	1 5
5. 医療事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 8
6. 健康相談など医療社会事業・・・・・・・・・・・・	2 2
7. 看護師の養成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2 2
8. 血液事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2 3
9. 国際活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2 4
1 0. 社員（支援者）増強と社資募集・・・・・・・・	2 7
1 1. 赤十字思想の普及・広報活動・・・・・・・・	2 9
(資 料) 令和5年度の主な行事	3 3
表彰	3 4
役職員名簿	3 5
評議員名簿	3 6
日本赤十字社京都府支部 地区・分区組織図	3 7
施設一覧	3 8

写真で見る日本赤十字社京都府支部の活動

令和6年能登半島地震救護活動



避難所からの救急搬送



避難所における
感染症患者の診療の様子



輪島市役所内「ホッとルーム」における
こころのケア活動の様子



赤十字レスキューチェーン
京都による後方支援活動

地域奉仕団の活動



地域奉仕団研修会における
救急法講習の様子

青少年赤十字（JRC）の育成



JRC高校生メンバー炊き出し体験
※協力 城陽市地区赤十字奉仕団（城炊会）

救急法等講習



救急法指導員研修

健康生活支援講習



健康生活支援員養成講習

はじめに

日頃から京都府民の皆様や関係各位の方々には、赤十字事業推進に格別のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

今年1月1日に発生しました能登半島地震では、最大震度7、震度5以上の地震が連続して観測され、大津波警報も発令される大災害となりました。日本赤十字社では地震発生直後から全社一丸となって救護活動に取り組みました。

京都府支部におきましても、1月4日からDMATを派遣、救護班、コーディネートチーム、こころのケア班等切れ目なく支援を続け4月28日に活動を終了しました。この間、実人員161名の職員及びボランティアを現地へ派遣しました。あわせて被災地への義援金を募集し、多くの皆様から暖かいご支援をいただきました。

海外に目を向けますと、ウクライナ人道危機の終息が見えない中で、中東においてイスラエル・ガザの大規模な武力紛争の発生、トルコ・シリアやモロッコでは大規模地震、さらにハワイ・マウイ島での山火事、北アフリカ・リビアの洪水など自然災害も多発しました。日本赤十字社ではこれら世界各地で発生した災害等へ支援を行ってまいりました。京都府支部におきましても、多くの府民の皆様から多額の救援金をいただき、被災者のために役立てることができました。

昨年11月には京都市上京区に支部新社屋が竣工しました。今後は新社屋を拠点に、京都府内各市町村と連携を図り、災害対応をはじめ京都府における赤十字活動を更に充実、発展させてまいります。

時代が変遷しても、一貫して変わらぬ日本赤十字社の使命「人道の実現」を達成するため、今後とも、支部、各病院、血液センターが一丸となって赤十字事業に取り組んでまいります。皆様のなお一層の温かいご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年6月

日本赤十字社京都府支部

1. 災害救護活動

(1) 令和6年能登半島地震に対する救護活動

① 救護班等の派遣

令和6年1月1日16時10分に発生しました能登半島地震に対し、日本赤十字社京都府支部では発生直後から職員が参集し、情報収集や救護班等の派遣調整などを実施。1月4日に京都第一赤十字病院と京都第二赤十字病院のDMAT（災害派遣医療チーム）が出動して以降、災害医療コーディネイトチーム4班、救護班11班、こころのケアチーム2班など合計158名の救護員を派遣しました。

主な活動内容として、輪島市の避難所の巡回診療や被災された方のこころのケアなどを実施しました。

班	施設名	派遣期間	救護班							計
			医師	看護師	薬剤師	主事等	公認心理師	調整員	特殊救護要員	
DMAT	第一日赤	1/4~1/7	2	2				2		6
DMAT	第二日赤	1/4~1/7	1	2				2		5
CoT1班	第一日赤	1/8~1/12	1			2				3
救護1班	舞鶴日赤 第二日赤	1/8~1/12	1	3	1(第二)	2		1(支部)	1	9
CoT2班	第二日赤	1/11~1/15	1	1		2				4
救護2班	第一日赤	1/11~1/15	1	3	1	2		1(支部)	1	9
DMAT (ロジ)	第一日赤	1/11~1/17						1		1
DMAT (ロジ)	第二日赤	1/12~1/19		1						1
DMAT	第二日赤	1/15~1/19	1	2		2				5
DMAT (ロジ)	第一日赤	1/15~1/26	1							1
CoT3班	第一日赤 第二日赤	1/17~1/21	2			1				3
救護3班	第一日赤	1/17~1/21	1	3	1	2		1(血液)	1	9
救護4班	舞鶴日赤 第二日赤	1/21~1/25	1	3	1(第二)	2		2(支部)		9
DMAT	第一日赤	1/21~1/25	1	2				2		5
救護5班	第二日赤	1/26~1/30	1	3	1	2		2(支部)		9
救護6班	第一日赤	1/29~2/2	1	3	1	2		1(支部)	1	9
DMAT	第一日赤	1/31~2/5	1	2				2		5
DMAT	第二日赤	2/1~2/5	1	2		2				5

救護7班	第二日赤	2/5～2/9	2	3	1	2		1 (支部) 1 (血液)		10
CoT4班	第二日赤	2/12～2/18	1	1	1	1				4
救護8班	第一日赤	2/13～2/17	1	3	1	2		1 (支部)	1	9
DMAT	第二日赤	2/16～2/18		1						1
救護9班	第二日赤	2/19～2/23	1	3	1	3		1 (支部)		9
救護10班	第二日赤 舞鶴日赤	2/23～2/27	1	3	1	2		1 (支部)	1	9
支部支援	支部	2/28～3/3						1		1
救護11班	第一日赤	3/4～3/8	1	3	1	2		1 (支部)	1	9
こころの ケア1班	第一日赤 第二日赤	3/13～3/19		1		1	2			4
こころの ケア2班	第一日赤 第二日赤 舞鶴日赤	4/22～4/28		3		1				4

※日本赤十字社としての救護班等の派遣活動については、5月2日をもって終了しました。

②被災地病院の看護師支援

施設名	職種	派遣期間	派遣先	派遣者数
京都第一赤十字病院	看護師	2/6～2/11	市立輪島病院	1
京都第二赤十字病院		2/21～2/27		1
		3/1～3/6		1



能登半島地震救護活動
巡回診療で避難所アセスメントを行う様子



能登半島地震救護活動
輪島市役所「ホッとルーム」における
こころのケア活動

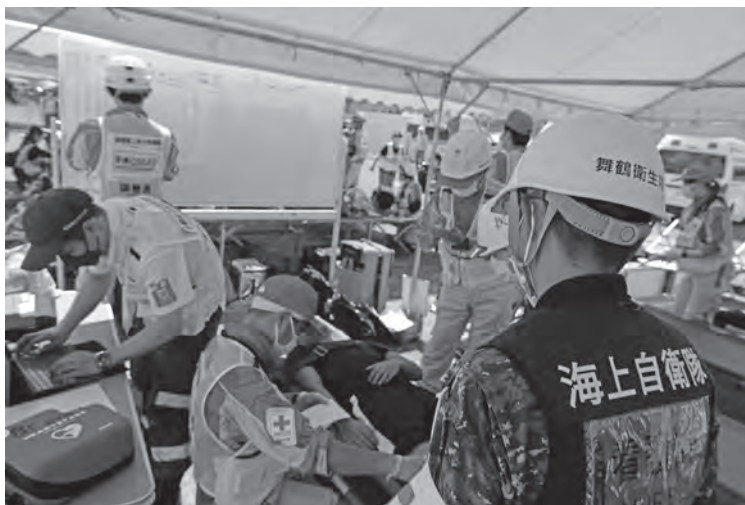
(2) 救護員の体制

災害時、初動期から中長期におよぶ医療救護活動ができるよう、京都第一・京都第二・舞鶴の各赤十字病院の医師・看護師等からなる常備救護班を15班編成するとともに、血液センターにおいては血液供給班を編成するなど、有事に備える体制を構築しています。

災害等緊急派遣に対応する救護班要員の任命状況については次の通りです。

施設名	医師	看護師	一般職員	その他	合計人数	登録区分
京都府支部	0	2	10	0	12	災害対策本部要員
京都第一日赤	18	28	13	16	75	常備救護班要員
京都第二日赤	6	22	10	10	48	〃
舞鶴日赤	3	9	5	1	18	〃
血液センター	0	0	4	0	4	血液供給要員
〃(福知山)	0	0	2	0	2	〃
合計	27	61	44	27	159	

※京都第一日赤及び京都第二日赤の常備救護班要員には、日本DMATと京都DMATの登録者を含んでいます。



京都府総合防災訓練
(救護所の様子)

(3) 防災ボランティア団体等の状況

京都府支部における防災ボランティア団体としては、阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、医療救護支援活動から物資搬送・炊き出しまでの総合的な救援活動を迅速に行う災害ボランティアを目指して平成8年1月に発足した、「赤十字レスキューチェーン京都」があり、有事の際に実働し得る団員を確保するためメンバーの増員を図るとともに、特殊技術を有する個人を防災ボランティアとして登録するなど、支部における防災ボランティアの活動基盤の構築と発展に努めています。

○赤十字レスキューチェーン京都 支会別会員数（令和6年3月31日現在）

支会名称	団員数（人）
舞鶴支会	4
福知山支会	10
亀岡支会	10
京都支会	16
長岡京支会	9
宇治支会	14
合計	63

また、災害初動期の医療救護活動の支援体制をより強固にするため、団員のうち所定の基準を満たす者を本社規程に基づく特殊救護要員に登録し有事に備えています。

令和5年度特殊救護要員登録者数（人）	24
--------------------	----

（4）救護員等の訓練、研修

京都府支部では、救護体制及び技術の向上に努めるため、京都府や京都市など行政機関が実施する総合防災訓練等への参加や、赤十字独自の救護訓練を実施するなど、実践的な訓練や研修に積極的に取り組んでいます。

①各種防災救護訓練の参加実績（ボランティア派遣人員を含む）

訓練名称	実施日	会場	参加者（人）
JR列車事故対応訓練	4/28	向日市（吹田総合車両所京都支所）	8
第4ブロック合同災害救護訓練	6/17	兵庫県（日赤兵庫県支部災害救護支援センター 他）	47
京都府総合防災訓練	9/3	亀岡市（保津川水辺公園他）	38
福知山市地域防災訓練 （医療救護訓練中止）	9/3	福知山市	—
宇治市総合防災訓練	10/22	宇治市（大久保小学校）	5
京都市総合防災訓練	10/28	左京区（岡崎公園一帯）	39
長岡京市防災訓練	10/29	長岡京市（神足小学校）	4
京都府原子力総合防災訓練	11/26	上京区（京都府庁）	1
京都刑務所総合防災訓練	12/8	山科区（京都刑務所）	10
支部管内合同災害救護訓練 （能登半島地震により中止）	1/13	上京区（京都府支部）	—



JR列車事故対応訓練
(吹田総合車両所京都支所)

②職員等救護員を対象とした教育研修実績

研修会の名称	実施日	会 場	参加者 (人)
災害看護論演習 (基礎行動)	4/21	京都第一赤十字病院	40
こころのケア指導者養成研修会	10/11~12	本社	1
救護員としての赤十字看護師研修 (救急法)	11/14~16	舞鶴赤十字病院	4
こころのケア研修会	12/11	舞鶴赤十字病院	13
救護班要員基礎研修	12/23	京都第一赤十字病院	32
災害看護論演習 (トリアージ)	1/31	京都第一赤十字病院	38
日本災害医学会総会・学術集会	2/22~24	左京区 (みやこめッセ)	9
こころのケア研修会	2/28~3/8	京都第一赤十字病院 (E-learning+対面)	31
合計			168

③救護体制の検討等に関する会議

会議の名称	実施日	会 場	参加者 (人)
第4ブロック救護員指導者協議会	4/19	兵庫県支部災害救護支援 センター WEB (オンライン) 併用	20
支部救護員指導者協議会 (第1回)	6/27	京都府支部 WEB (オンライン) 併用	19
第4ブロック救護員指導者協議会	9/20	兵庫県支部災害救護支援 センター WEB (オンライン) 併用	19
支部救護員指導者協議会 (第2回)	10/17	京都府支部 WEB (オンライン) 併用	20
第4ブロック救護員指導者協議会	12/19	和歌山県消防学校 WEB (オンライン) 併用	16
合計			94

(5) 日本赤十字社防災教育事業（赤十字防災セミナー）

京都府支部では、受講者に対して災害への備えや非常時の心構え等を紹介するとともに、災害時における赤十字の活動について知ってもらうため、「赤十字防災セミナー」を開催しています。本セミナーは、地域における啓発活動の一つとして位置付けられており、地区・分区や社会福祉協議会、自治会等において積極的に展開しています。

① 赤十字防災セミナー

内容	実施日	会場	参加者 (人)
災害への備え	5/9	伊根町老人福祉センター	19
災害への備え	7/13	公益財団法人丹後地域地場産業振興センター	50
災害への備え	7/28	福知山市六人部地域公民館	20
災害への備え	10/7	音羽小学校体育館	70
おうちのきけん	2/11	京都テルサ	50
災害への備え	3/24	日赤京都府支部	26
合計			235

② 日本赤十字社防災教育事業における支部指導者数

日本赤十字社防災教育事業における指導者数	職員 (人)	ボランティア (人)
	8	25



赤十字防災セミナーの様子

(6) 救護、救援活動派遣実績

災害発生時の物資搬送や地域のイベントなどでの事故の発生に対応するため、医師、看護師等を派遣しています。

イベント等への救護員の派遣実績（ボランティア派遣人員を含む）

内 容	実施日	場 所	派遣人員（人）
亀岡平和祭花火大会	8/11	亀岡市（保津川河川敷）	9
宇治川マラソン大会	2/25	宇治市（太陽ヶ丘 他）	25

(7) 救護資機材の整備

災害救護に必要な救護関係資機材は、移動手段として最も重要な車両整備をはじめ、最新の通信系機器やその他資機材の整備に努めました。

今後も、災害救護活動が迅速かつ円滑に展開できるよう、より一層、資機材の充実を図ることとしています。

資機材品目		保有数量	備考
救護車両	大型救急車	1	特殊救急車
	救急車	5	支部、第一、第二（2台）、舞鶴の各病院に常置
	装備車（トラック）	2	
	その他の救援車両	4	
除染	除染設備（テント）	1	除染設備一式、特殊防護服は舞鶴に常置
	特殊防護服（レベルC）	4	
テント	エアール	1	
	パラソル	39	27張は地区・分区に配備
	ドラッシュテント	3	
医療セット		3	第一、第二、舞鶴の各病院に常置
除細動器（AED 8台を含む）		13	3台のAEDは救急車搭載用
発動発電機		18	4台はドラッシュテントとエアテント用
担架（特殊を含む）		28	
衛星通信機器（車載用2台を含む）		11	
無線機	150MHz	32	
	410MHz	26	
	簡易業務無線	7	京都DMATとの通信用

※この他に、除染設備（テント）一式及び特殊防護服（レベルC）4着が京都第一、京都第二赤十病院のそれぞれに京都府から貸与されています。

(8) 災害救護用備蓄倉庫

地域	設置場所	形状
京都市	日本赤十字社京都府支部内	敷地内倉庫等
	日赤京都救護活動センター (京都府赤十字血液センター内)	建物内
府北部	舞鶴赤十字病院敷地内	2階建独立建物
	京都府赤十字血液センター福知山出張所内	コンテナ倉庫
	綾部市消防本部敷地内	コンテナ倉庫
	亀岡市役所地下2階	庁舎内倉庫
	京丹波町役場敷地内	軽量鉄骨造
府南部	宇治市職員会館敷地内	コンテナ倉庫
	長岡京市スポーツセンター敷地内	コンテナ倉庫
	京都府長岡京市記念文化会館	軽量鉄骨造
	井手町役場敷地内	コンテナ倉庫
	精華町地域福祉センターかしのき苑敷地内	コンテナ倉庫

(9) 救援物資の配布と備蓄

南北に長い京都府の地理的条件から、災害時に即応するため、救援物資である毛布・緊急セットを府内全市町村の地区・分区に備蓄しているほか、令和5年度は井出町に京都府支部の災害救護用倉庫を設置しました。災害救護用分置倉庫に救護資材及び救援物資を備蓄しています。

①救援物資の配分状況 (京都府内分)

被害区分	被災世帯及び人員		毛布 配分数(枚)	緊急セット 配分数(個)	安眠セット 配分数(個)	タオルケット 配分数(枚)
	世帯数 (世帯)	人員 (人)				
住家全焼	17	41	22	23	24	17
住家全壊	0	0	0	0	0	0
住家流出	0	0	0	0	0	0
住家半焼	12	17	17	8	13	5
住家半壊	1	1	0	1	0	0
住家床上浸水	23	43	0	23	0	0
避難所	2	2	4	2	2	0

被害区分	被災世帯及び人員		毛布 配分数（枚）	緊急セット 配分数（個）	安眠セット 配分数（個）	タオルケット 配分数（枚）
	世帯数 （世帯）	人 員 （人）				
その他	7	10	15	6	40	1
合計	62	114	58	63	79	23

②救援物資の備蓄状況

場所	毛布（枚）	緊急セット（個）	安眠セット（個）	タオルケット（枚）
支部等の倉庫	5,004	2,670	1,090	2,979
地区・分区	2,271	801	783	964
合計	7,275	3,471	1,873	3,943

（10）災害死亡見舞金の贈呈

令和5年度は、火災などの災害により死亡された11名の方の遺族に、地区・分区を通じて見舞金を贈りました。

（令和6年3月31日現在、京都府支部に申請のあった分）

12件 13名 260,000円（1名あたり 20,000円）

（11）国内災害義援金

（令和6年3月末現在）

区分	京都府支部		
	令和5年度受付分	受付開始からの累計額	
令和5年5月能登地方地震災害義援金	10件	253,809円	253,809円
令和5年台風第2号等大雨災害義援金	9件	246,912円	246,912円
令和5年6月30日からの大雨災害義援金	8件	146,955円	146,955円
令和5年7月7日からの大雨災害義援金	6件	495,173円	495,173円
令和5年台風第6号災害義援金	6件	16,810円	16,810円
令和5年台風第13号災害義援金	9件	145,311円	145,311円
令和6年能登半島地震災害義援金	128件	83,508,685円	83,508,685円
合計	176件	84,813,655円	

2. 赤十字の各種講習

不慮の事故や急病に対する応急手当の方法や、家庭内での病気の予防や看護の方法などの知識と技術を身につけ、一人でも多くの方々に健康で幸せな生活を送っていただくために、救急法・水上安全法・健康生活支援講習・幼児安全法の講習を府内各地で実施したほか、講習の指導にあたる指導員の養成にも努めました。その実施状況は次のとおりです。

講習区分	資格講習				短期講習		合計	
	基礎講習		救急員等養成講習		回数	人数	回数	人数
	回数	人数	回数	人数				
救急法	34	835	20	551	62	3,983	116	5,369
水上安全法			4	57	6	361	10	418
健康生活支援講習			3	94	12	288 (83)	15	382
幼児安全法			3	59	52	914	55	973
合計	34	835	30	761	132	5,546	196	7,142

※この他に、雪上安全法の講習もありますが、京都府支部では実施していません。

※（ ）内は、災害時高齢者生活支援講習の受講者数

(1) 指導体制

講習名	支部職員	施設職員	ボランティア	合計人数
救急法	6	49	93	148
水上安全法	1	0	20	21
健康生活支援講習	2	26	5	33
幼児安全法	3	21	8	32

(2) 講習指導員関係講習会・研修会

講習会・研修会の名称	実施日	会場	参加者 (人)
赤十字幼児安全法講習講師研究会	7/27～28	日本赤十字社本社	1
赤十字救急法指導員養成講習会	8/18 (事前研修) 8/18・19・20・26・27 (本講習) 9/30・10/1 (事後研修)	京都府支部	9

講習会・研修会の名称	実施日	会 場	参加者 (人)
赤十字健康生活支援講習講師養成講習会	11/15～17	日本赤十字社 PMOビル	2
赤十字幼児安全法講師研修会	12/18～19	日本赤十字社本社	1
赤十字健康生活支援講習講師研修会	12/19～20	日本赤十字社本社	1
赤十字水上安全法指導員研修会	3/10	京都踏水会水泳 学園	1 2
赤十字救急法指導員研修会	3/13、3/14、3/16、3/17	京都府支部	9 4
赤十字幼児安全法指導員研修会	3/21	京都府支部	2 8
赤十字健康生活支援講習指導員研修会	3/21	京都府支部	3 0



救急員養成講習の様子



水上安全法指導員研修の様子

3. 赤十字奉仕団

赤十字奉仕団は、赤十字の基盤となるべき重要な奉仕者の組織として、赤十字事業の推進を図るうえで欠くことのできない存在です。奉仕団の活動は、それぞれの地域に即した奉仕活動を行うために組織されたもので、日本赤十字社の地区・分区を中心として、一定の地域を単位として結成されています。

各奉仕団は、それぞれの特性を生かし、赤十字思想の普及・活動資金の募集・献血の推進・災害時に備えた救援活動や各種奉仕活動を行っています。

(1) 奉仕団登録状況

区分	団数 (団)	分団数 (団)	人数 (人)	備考
地域奉仕団	14	219	2,290	京都市11団、綾部市1団、舞鶴市1団、城陽市1団
青年奉仕団	3	—	257	赤十字京都ユース25名 京一・京二看護学生奉仕団232名
特殊奉仕団	2	—	85	赤十字レスキューチェーン京都 63名 青少年赤十字賛助奉仕団 22名

(2) 奉仕団活動状況

① 赤十字レスキューチェーン京都

行事名	実施日	会場	参加者 (人)
赤十字無線救護奉仕団 第4ブロック連絡協議会役員会	4/8	大阪府支部	1
第4ブロック合同災害救護訓練	6/17	兵庫県 (日赤兵庫県支部災害救護支援センター 他)	5
亀岡平和祭花火大会	8/11	亀岡市 (保津川河川敷)	7
京都府総合防災訓練	9/3	亀岡市 (保津川水辺公園他)	7
宇治市総合防災訓練	10/22	宇治市 (大久保小学校)	4
京都市総合防災訓練	10/28	左京区 (岡崎公園一帯)	7
長岡京市防災訓練	10/29	長岡京市 (神足小学校)	3
京都刑務所総合防災訓練	12/8	山科区 (京都刑務所)	2
宇治川マラソン大会	2/25	宇治市 (太陽が丘 他)	16
合計			52

② 赤十字京都ユース(RCY)

行事名	実施日	会場	参加者 (人)
第4ブロック青年赤十字奉仕団協議会 代表者会議	6/11	日赤京都府支部	4
HIV/AIDSピア・リーダー養成研修会	7/9	WEB (オンライン) 開催	5
京都府青年赤十字奉仕団基礎研修会	9/10	日赤京都府支部	7

行事名	実施日	会 場	参加者 (人)
青年赤十字奉仕団第4ブロックリーダー養成研修会	11/25～26	あうる京北	3
京都市はたちを祝う記念式典のボランティア活動	1/8	京都市勧業館 みやこめッセ	6
第34回全国車いす駅伝競走大会	3/9～10	京都市 (西京極総合運動公園 他)	13
合 計			38

③ 青少年赤十字賛助奉仕団

行事名	実施日	会 場	参加者 (人)
全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会総会	7/11～7/12	本社	1
京都府青少年赤十字賛助奉仕団総会	7/18	支部	8
第4ブロック支部 青少年赤十字賛助奉仕団交流研修会	10/12～10/13	大阪府堺市	2

(3) 施設奉仕活動状況

奉仕団名	活動場所 (活動内容)	活動延日数	活動延人数
南区奉仕団婦人部	京都第一赤十字病院及び看護専門学校	中止	—

※新型コロナウイルス感染症の影響により、年間通じて奉仕活動は中止

(4) 赤十字奉仕団支部指導講師の活動状況

①支部指導講師 3名

②活動状況

活動内容	実施日	会 場	参加者 (人)
京都府青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター小学生の部	7/29・30	ひとまち交流館	42
京都府青少年赤十字リーダーシップ・高校生の部	8/3	ひとまち交流館	20
京都府青年赤十字奉仕団基礎研修会	9/10	日赤京都府支部	7
青年赤十字奉仕団第4ブロックリーダー養成研修会	11/25～26	あうる京北	3
赤十字救急法指導員研修会	3/17	日赤京都府支部	26

4. 青少年赤十字 (JRC)

将来の赤十字の担い手を育成する青少年赤十字活動を展開し、その強化を図るため、京都府・京都市並びに各市町村の教育委員会、青少年赤十字指導者協議会、青少年赤十字賛助奉仕団等の協力を得て、子どもたちが赤十字の精神を理解し、日常生活の中で望ましい人格を作り上げることができるよう、学校教育の中で取り組まれています。

(1) 加盟校とメンバー数

区分	幼稚園・保育園 認定こども園	小学校	中学校	義務教育校	高校	合計
加盟校数 (校)	17	175	7	8	7	214
メンバー数 (人)	1,068	62,424	3,045	3,349	58	69,944

(2) リーダーシップ・トレーニング・センター

小学生の部 7月29日(土)・7月30日(日) 参加者43名 会場 ひと・まち交流館 京都
 高校生の部 8月3日(木)・8月4日(金) 参加者19名 会場 ひと・まち交流館 京都



小学生の部



高校生の部

(3) 研修会の実施

研修名	実施日	会場	参加者(人)
第1回京都府青少年赤十字高校生メンバー協議会	6月17日	日赤京都府支部	34
京都府青少年赤十字トレセン指導者事前研修会	7月25日	日赤京都府支部	15
青少年赤十字第4(近畿)ブロック支部指導者研修会	7月29日	兵庫県	3
赤十字救急法基礎講習(高校生メンバー受講)	8月9日	日赤京都府支部	12
第2回京都府青少年赤十字高校生メンバー協議会	3月24日	日赤京都府支部	20

(4) 青少年赤十字モデル事業

テーマ・内容	学校
<p>健康・安全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まもるいのちひろめるぼうさい」の全校での活用 ・登校の仕方、避難訓練において高学年が低学年を守る見守りプログラムの作成 ・中学年が社会科の学習と連動して、「防災マップ作り」や「地域の防災について」探求的に学ぶ。 ・高学年が総合的な学習と連動して、「お年寄りの方々を守る地域の取組」「みんなの命を守る防災グッズ開発・避難所運営と地域の方々の協働」等を探求的に学ぶ。 	<p>京都市立 桂坂小学校</p>
<p>健康・安全</p> <p>学校の安全のため、生活安全、交通安全、災害安全の視点で安全教育を実施している。</p> <p>4年生の防災学習では、近隣の高校と連携して校区の安全や災害時に自分出来る事について学ぶ。</p> <p>児童自身が安全意識を高くもち自分事として捉えることが出来る子の育成を目指す。</p>	<p>京都市立 北醍醐小学校</p>
<p>「韓国・朝鮮の文化を知ろう」</p> <p>本校には、韓国・朝鮮にルーツを持つ児童が多い。京都市で2校しかないコリアみんぞく教室を設置している。社会を取り巻く情勢に目を向けると、韓国・朝鮮に対する差別は一向に無くなっていない。</p> <p>そのため、小学生のうちに、違いを認め合える多文化共生社会の一員であると自覚する必要がある。そこで、本校としては、以下のような取り組みを進めていきたいと考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年に2回、各学年に応じて韓国朝鮮の文化理解に関する人権学習を行う。 <p>例「ハングルについて知ろう」「チマチョゴリを着てみよう」「ユンノリで遊ぼう」「チャンゴで演奏してみよう」「日本と韓国朝鮮の歴史について知ろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コリア民族教室での学習の様子を参観するなど、教員自身の人権感覚を養う。 ・学習発表会において、5年生とコリアみんぞく教室の子が合同音楽発表を行う 	<p>京都市立 養正小学校</p>



京都市立桂坂小学校における
防災授業の様子

(5) 防災教育プログラム

防災学習の取組（京都府支部確認分）

実施校	実施日	内容
聖母学院中学・高等学校 防災ワークショップ	9月30日	防災ワークショップ 避難所HUG

(6) 高校生の献血セミナー

学校名	実施日	会場	参加者（人）
京都共栄学園高等学校	12月2日	同校	212
華頂女子高等学校	2月7日	同校	94
京都聖母学院中学校	2月28日	同校	124

(7) 募金活動（京都府支部確認分）

学校名	実施日	内容
華頂女子高等学校	11月27日～30日	NHK海外たすけあい募金
高校生メンバー協議会	12月9日	NHK海外たすけあい募金
高校生メンバー協議会	1月27日	令和6年能登半島地震災害義援金

(8) 活動状況

行事名	実施日	会場等	参加者（人）
京都府青少年赤十字指導者協議会役員会	4/18	支部	10
京都府青少年赤十字指導者協議会総会	5/23	支部	16
第1回京都府青少年赤十字高校生メンバー協議会	6/17	京都テルサ	37
全国青少年赤十字指導者協議会役員会・総会	6/30	本社	1
第2回京都府青少年赤十字指導者協議会役員会	7/6	支部	9
青少年赤十字第4（近畿）ブロック支部指導者研修会	7/29	兵庫県	3
京都府青少年赤十字高校顧問会議	8/3	支部	5
高校生メンバー協議会救急法基礎講習会	8/9	支部	19

行事名	実施日	会場等	参加者 (人)
青少年国際交流事業	11/23～ 11/26	オリンピック センター	2
子ども体験教室（ふれあいバスケット）	12/2	九条塔南小学校	40
京都市青少年赤十字研究会による防災授業	12/8	桂坂小学校	-
令和6年能登半島地震災害義援金募金活動	1/27	四条河原町	40
第3回京都府青少年赤十字指導者協議会役員会	3/21	支部	6
第2回京都府青少年赤十字高校生メンバー協議会	3/24	支部	20
全国JRCスタディー・プログラム	3/23～3/26	山中湖	2

5. 医療事業

京都第一、京都第二及び舞鶴赤十字病院は地域における中核医療機関として地域医療に積極的に貢献しており、昨今の医療情勢は厳しい状況にありますが、医療の質の向上並びに医療設備の充実強化を図り、経営の安定と機能の充実に努めております。

更に、赤十字病院の使命に鑑み、日頃から医師や看護師等を救護班要員として登録し、災害発生時には、救護班要員を被災地に緊急派遣するなど、迅速な医療救護活動が展開できる体制を取っています。

(1) 京都第一赤十字病院

令和5年度の病院のスローガンは、「京都で一番の基幹病院を目指す」としています。我々は日本赤十字病院グループの理念のもとで災害医療・救急医療・地域医療において人間の命と健康、尊厳を守り、赤十字思想の普及啓発に努めるのが使命と考えています。令和5年度の主な人事異動といたしましては、長年にわたって院長として病院を牽引してこられた池田栄人院長と、平成28年から副院長としてご活躍いただいていた福田互副院長が退任され、



京都第一赤十字病院

新たに令和6年4月1日付けで大辻英吾が新院長に就任いたしました。これに先立ち1月1日付で上島康生医療安全推進室長が副院長に就任し、保健所行政指導への対応と医療安全管理の改善充実を担うこととなりました。

さて、当院が抱える課題の一つに NICU・GCU の面積が狭小なこと、NICU の病床数が不足していることがあります。そのため救急患者の受け入れが困難な場合がありますので令和 5 年度にこれらを移転・拡充致しました。その結果、1 ベッド当たりの面積が GCU で 4.9 平米から 9.4 平米に、NICU では 7.9 平米から 13.3 平米に改善され、それぞれの病床数は 12 床となりました。GCU は令和 5 年 10 月から、NICU は令和 6 年 2 月に稼働を始め、治療環境の改善が図られています。

また、当院の使命である高難度・低侵襲手術への対応強化のために、手術室を 10 室から 12 室に増室することに致しました。これらの工事は令和 6 年 2 月に着手し、10 月に完成する予定ですが、手術室の拡充によって手術間のインターバルが削減され、手術件数が増加するので手術により救える患者様も増加するのではないかと期待しています。

令和 5 年度の収支は、医業収益は前年度より約 3.9 億円減の 233.6 億円、医業費用は材料費や給与費などで約 4 億円増の 243.6 億円となり医業収支はマイナス 10 億円。各種補助金等を加えた総収支についても残念ながら赤字となりました。

5 年度は非常に苦しい経営状況となりましたが、今後、機会喪失の抑止など経営改善を図るとともに医療安全面を強化して、京都で高度急性期医療を担う基幹病院としての役割を全うしたいと存じますので、今後ともよろしく願いいたします。

（２）京都第二赤十字病院

当院では、令和 5 年 5 月に新型コロナウイルス感染症が 5 類に分類されたことを受け、診療体制を少しずつ通常の状態に戻しながら、高度急性期医療や救急医療に邁進してまいりました。

一方、年が明けた令和 6 年の元日には、能登半島地震が発生し、DMAT（災害派遣医療チーム）や日赤救護班として多くの職員を現地に派遣し、災害医療の対応にも当たってまいりました。



京都第二赤十字病院

さらに 4 月からは京都府初の高度救命救急センターに指定され、救急医療の「最後の砦」として、通常の救命救急センターでは対応が困難な患者さんを受け入れるなど、当院の果たすべき役割はますます大きくなっています。

こうした中、病院の運営を支える施設設備については、建物の老朽化や狭隘化の問題に直面しています。将来にわたって安全かつ質の高い医療を提供し、当院に与えられた多くの役割を果たしていくためには、「新病院建設」と「建設費確保のための経営改善」が急務となっています。

令和 5 年度の決算においては、本業である医業収支が 7 億 94 百万円の赤字、病院総収支が 1 億 26 百万円の赤字となりました。これは、昨年度に適用されていた新型コロナウイルス感染症に関する特例加算などがなくなり、診療報酬が大きく減少したことが影響しています。この減収

に対処するため、地域の病院や診療所などとの連携を強化し、当院への入院患者さんの紹介件数を増やすなどの取組を行い、年間の新入院患者数を前年度比で約千人増加させることができましたが、減収分を補うまでには至らず、結果として赤字決算となりました。

令和6年度は、経営改善に向け、これらの取組を昨年度以上に強化していく必要があります。そのため、「医業収支黒字化」を経営目標におき、診療科ごとに達成のための対策を定め、それを病院四役による「経営ヒアリング」で進捗管理を行いながら目標達成に向けた取り組みを着実に進めてまいります。様々な課題がある中、新病院建設という大きな目標に向かって職員一丸となって進んでまいります。

(3) 舞鶴赤十字病院

令和5年度の当院の収支状況は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、診療報酬上の臨時措置が終了したことにより、回復期病棟の施設基準がⅠからⅢに下がったことや、外来診療単価の減少、さらには入院患者数の減少等により、医業収益は▲3.9億円と、過去最大級の赤字を計上することとなりました。

診療部門においては、当院の強みである整形外科部門の強化のため、人工股関節全置換及び人工膝関節全置換術用ロボット手術支援システムを6月に導入するとともに、12月には電子カルテシステムを全面更新するなど、安全で安心な医療の提供と患者サービスの向上を図るために大型投資を行いました。また経営改善・将来構想委員会を立ち上げ、診療報酬改定への対応や患者獲得に向けた取組など、更なる収益改善に向けた取組を進めているところです。

一方、舞鶴市では、令和5年度に舞鶴市長と公的4病院の院長による「持続可能な地域医療を考える会」が発足し、医療現場の現状や直面している現状課題を共有し、その対応策について協議してきました。令和6年度も、引き続き地域の実情に応じた最適な医療提供体制のあり方等について検討する予定とされており、本部・支部とも連携を取りながら参加する予定としています。

また、令和6年1月1日に発生した能登半島地震には、1月8日から輪島市への救護班の派遣を行い、年度末までに合計3班の派遣を行いました。

令和6年度に入っても、4月にこころのケア班のスタッフとして職員を派遣するなど、引き続き赤十字の特色である災害救護活動に尽力するとともに、舞鶴西地区を中心とした地域医療の拠点病院として、地域に根ざした医療活動を行っていきます。



舞鶴赤十字病院

医療施設の概要

	病床数		診療科目	職員数（人）				入院患者数（人）		外来患者数（人）	
	許可	稼働		医師	看護師	他	計	延数	一日平均	延数	一日平均
京都第一赤十字病院	604	600	リウマチ内科、総合内科、糖尿病・内分泌内科、血液内科、消化器内科、循環器内科、脳神経・脳卒中科、呼吸器内科、腎臓内科・腎不全科、消化器外科、肝胆膵外科、乳腺外科、小児外科、呼吸器外科、形成外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、小児科、新生児科、産婦人科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、眼科、皮膚科、泌尿器科、精神科、放射線診断科、放射線治療科、歯科口腔外科、麻酔科、集中治療科、救急科、健診科、リハビリテーション科、緩和ケア内科、病理診断科	360	785	463	1608	170,941	467	278,174	1,154
京都第二赤十字病院	667	537	総合内科（内科）、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、血液内科、糖尿病内分泌・腎臓・膠原病内科、脳神経内科（神経内科）、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、気管食道外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、こころの医療科（精神科）、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、病理診断科、歯科口腔外科、麻酔科、救急科	335	705	475	1515	160,227	437.8	292,138	1,186.8
舞鶴赤十字病院	198	155	内科・消化器内科・神経内科・小児科・外科・整形外科・皮膚科・泌尿器科・眼科・耳鼻咽喉科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科	14	118	113	245	43,365	119	80,437	332

注) 病床数・職員数は令和6年3月31日現在、患者数は令和5年度実績

6. 健康相談など医療社会事業

各赤十字病院においては、生活困窮者等の医療援護、訪問看護、検診活動、健康診断などの各種医療社会事業を実施し、併せて社会福祉団体等の依頼により、医師、看護師等の派遣事業を実施しています。

区分	件数	延日数	延派遣職員			
			医師	看護師	その他	計
京都第一赤十字病院	4	12	11	4	0	15
京都第二赤十字病院	13	22	5	26	0	31
舞鶴赤十字病院	9	9	3	5	1	9
合計	26	43	19	35	1	55

7. 看護師の養成

日本赤十字社の看護師養成は、約130年の歴史を有し、看護に関する幅広い能力を備えた赤十字看護師として、保健医療活動をはじめ災害救護活動、国際救援活動など広く社会に貢献できる人材の育成を行っています。

京都府支部における養成状況は次のとおりです。

(1) 養成施設及び学生数

(令和6年3月31日現在)

学校名	1年	2年	3年	合計人数
京都第一赤十字看護専門学校	39 (1)	39 (2)	39 (5)	117 (8)
京都第二赤十字看護専門学校	44 (6)	28 (1)	44 (4)	116 (11)
合計	83 (7)	67 (3)	83 (9)	233 (19)

() は男子学生の内数です。

(2) 進路等の状況 (令和5年度)

学校名	所属病院	進学	その他	合計人数
京都第一赤十字看護専門学校	32	2	5	39
京都第二赤十字看護専門学校	35	1	6	42
合計	67	3	11	81

8. 血液事業

献血者の皆様をはじめ、献血推進にご尽力いただいた府民、並びに各種団体のご理解とご協力を得て、令和5年度献血者数は110,284人となり、管内医療機関への輸血用血液製剤の供給が滞りなく行われました。

また、広く府民の皆様に献血へのご協力を得られるよう、SNSを始めとした様々な広報媒体を活用することで、血液事業に対する理解を促すとともに、献血Web会員サービス（ラブラッド）の会員登録および献血予約を推進し、ご協力いただきやすい環境づくりに取り組んでいます。

(1) 令和5年度 献血状況

献血方法別	京都府		全国	
	人数(人)	構成比(%)	人数(人)	構成比(%)
血漿献血	17,419	15.8	1,014,533	20.3
血小板献血	15,491	14.0	545,759	10.9
400mL献血	76,342	69.2	3,322,234	66.3
200mL献血	1,032	1.0	126,755	2.5
合計	110,284	100	5,009,281	100

(2) 令和5年度 供給状況 (単位換算)

製剤別	京都府		全国	
	単位	構成比(%)	単位	構成比(%)
全血	0	0	2	0
赤血球	148,252	31.9	6,524,708	37.4
血漿	61,214	13.2	2,125,524	12.2
血小板	255,065	54.9	8,780,959	50.4
合計	464,531	100	17,431,193	100

※単位換算とは、200mL献血由来を1単位として換算したものです。



献血バスでの献血の様子



医療機関からの要請により、
輸血用血液製剤を届ける様子

(3) 若年層献血者確保対策

今後の輸血医療を支えていく若年層（特に小中高生）を対象に献血セミナーを開催し、将来の献血者となるよう啓発に努めています。職員が会場に出向く出前形式や、インターネットを活用したオンライン形式等、皆様のニーズに応じた形で実施しています。

また、献血のご協力が減少しがちな冬季のイベントとして、12月に「全国学生献血クリスマスキャンペーン」を全国的に実施しました。京都府でも京都府学生献血推進協議会のメンバーが、若者を中心に広く府民への献血の協力を呼びかけました。



献血セミナーの様子（京都南部の高校にて）



京都府学生献血推進協議会による
全国学生献血クリスマスキャンペーンの様子

9. 国際活動

日本赤十字社は、国際赤十字の一員として各国の赤十字社・赤新月社やジュネーブにある赤十字の国際機関とともに国際救援活動を行っています。

各国の赤十字社は互いに協力しながら活動を続けており、京都府支部においても救援金の受付や救援事業等を行いました。

(1) 海外救援金

① 海外救援金（令和6年3月末現在）

区分	京都府支部		
		令和5年度受付分	受付開始からの累計額
中東人道危機救援金	1件	3,023円	1,565,370円
バングラデシュ南部避難民救援金	2件	5,727円	2,552,227円
アフガニスタン人道危機救援金	1件	3,023円	13,023円
ウクライナ人道危機救援金	10件	11,788,240円	43,053,027円

区分	京都府支部		
		令和5年度受付分	受付開始からの累計額
2023年トルコ・シリア地震救援金	27件	11,455,725円	14,685,083円
2023年アメリカ・ハワイ火災救援金	5件	29,164円	29,164円
2023年モロッコ地震救援金	5件	226,650円	226,650円
2023年リビア洪水救援金	5件	184,650円	184,650円
2023年アフガニスタン地震救援金	3件	22,150円	22,150円
イスラエル・ガザ人道危機救援金	5件	1,390,000円	1,390,000円
海外無指定救援金	3件	14,023円	3,380,123円
合計	67件	25,122,375円	

② 「第40回NHK海外たすけあい」寄付金 (期間 令和5年12月1日～25日)

取扱窓口	京都府	全国
支 部	874,439円	46,806,268円
N H K	249,274円	19,697,623円
銀 行 等	161,445円	24,647,972円
本社(郵便局含む)	—	772,689,381円
合 計	1,285,158円	863,841,244円



NHK海外たすけあい街頭募金活動

③ 青少年赤十字海外支援事業「1円玉募金」活動

日本赤十字社の青少年赤十字海外支援事業として実施し、ネパール赤十字社における水や衛生設備の整備事業及びバヌアツ赤十字社における子どもたちの防災教育事業資金に充当しました。

日赤京都府支部有功会の国際援助協力事業 30,000円

(2) 支部国際活動参加事業

日本赤十字社では、アジア・大洋州地域における災害対策事業の一環として、救急法等の講習普及支援を平成16年度から実施しています。京都府支部は、令和5年度にラオス赤十字社に対し、1,000,000円の資金協力を行いました。

また、支部職員1名がラオス救急法普及支援事業への職員派遣としてラオスへ赴き、救急法の内容、技術的支援を行うとともに、地域の課題についても考え、相互に学びを深めました。



ラオス赤十字社本社スタッフと



ラオス赤十字社チャンパサック支部にて

(3) 研修会

研修名	日時	会場	参加人数
令和5年度日本赤十字社第4ブロック 合同国際人道法普及研修 講師：国際人道法概論	2/22	オンライン	1



10. 社員（支援者）増強と社資募集

日本赤十字社は、赤十字の基本理念である人道の精神に基づき、国内はもとより全世界の平和と福祉の増進のため、各種の事業活動を続けておりますが、これらの活動のための事業資金は、赤十字運動の支援者の皆様から寄せられる活動資金が財源となっています。

毎年5月の「赤十字運動月間」を中心に、府民の皆様のご支援に加え、地区・分区をはじめ、赤十字奉仕団、協賛委員、有功会等関係者の皆様から積極的なご協力をいただいた結果、令和5年度は363,047,118円もの活動資金へのご寄付をいただきました。なお、口座振替やクレジットカード決済等による活動資金募集につきましては、2,422件 22,113,712円のご寄付があり、ご協力いただいた方が居住されている地区の実績額に加算しております。

今後とも、時代に見合った参加しやすい環境を整備し、一層皆様のご理解を得て、支援者の増強と活動資金の増収に向け、取組を推進してまいります。

（1）活動資金収納状況

（各年3月末現在）

区分		令和5年度（円）	令和4年度（円）	対前年度比較（%）
地区扱い	京都市	96,693,802	99,093,732	97.6%
	府内14市	66,832,982	72,186,160	92.6%
	府内町村	15,331,348	12,773,396	120.0%
	小計	178,858,132	184,053,288	97.2%
支部扱い		184,188,986	119,642,822	153.9%
合計		363,047,118	303,696,110	119.5%

※個人住民税控除適用海外救援金を除く

（2）会員数（※）

（各年3月末現在）

区分		令和5年度			令和4年度		
		個人	法人	合計	個人	法人	合計
地区扱い	京都市	488	149	637	617	228	845
	府内14市	167	19	186	224	26	250
	府内町村	12	0	12	18	2	20
	小計	667	168	835	859	256	1,115
支部扱い		2,277	648	2,925	2,609	794	3,403
合計		2,944	816	3,760	3,468	1,050	4,518

※年額2,000円以上を寄付の上、会員登録いただいた方

（3）社資功労表彰件数

（各年3月末現在）

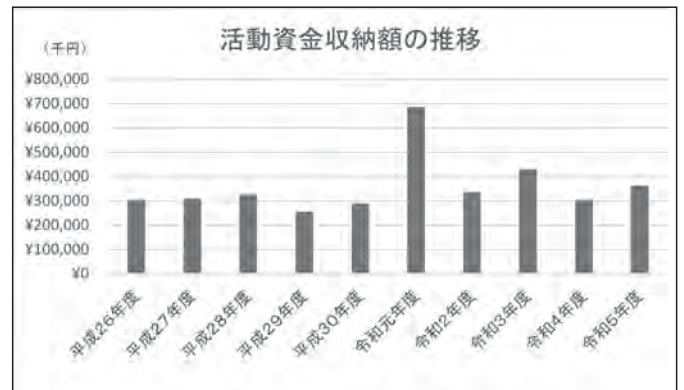
表彰名	件数
日本赤十字社長感謝状	0
金色有功章	5
銀色有功章	6
日本赤十字社京都府支部長感謝状	0

地区別実績額

京都市内 地区	金額
北 区	8,347,382
上京区	7,728,080
左京区	12,630,297
中京区	10,691,993
東山区	4,147,380
山科区	9,083,333
下京区	7,203,643
南 区	6,305,691
右京区	12,455,675
西京区	8,012,831
伏見区	10,087,497
合計①	96,693,802

広域振興局 地区	金額
山城（乙訓）	5,579,777
山城（山城北）	2,690,972
山城（山城南）	2,737,107
南 丹	1,510,117
丹 後	2,813,375
合計③	15,331,348
地区計（①+②+③）	178,858,132
支部扱	184,188,986
合計	363,047,118

京都府内 地区	金額
宇治市	9,908,769
亀岡市	8,297,579
綾部市	2,227,150
福知山市	6,017,036
宮津市	2,181,802
舞鶴市	6,092,313
城陽市	4,039,237
向日市	2,098,048
長岡京市	5,562,000
八幡市	2,370,285
京田辺市	3,674,127
京丹後市	6,051,895
南丹市	3,709,200
木津川市	4,603,541
合計②	66,832,982



1 1. 赤十字思想の普及・広報活動

(1) 赤十字月間キャンペーンの実施

5月1日は、日本赤十字社の前身である「博愛社」が創設された日であり、5月8日の「世界赤十字デー」は、赤十字社の創設者であるアンリー・デュナンの生誕の日です。こうした歴史的な日のある5月を毎年『赤十字運動月間』として、赤十字活動へのご理解とご協力を呼びかけています。京都府支部においても、赤十字の活動について一人でも多くの皆様の理解と協力をいただくための取組を行いました。

(2) イベント・キャンペーン開催・参加状況

名称	実施日	場所
第49回 鴨川茶店	4/9	なからぎの道 (北大路橋上ル鴨川東岸・府立植物園西側)
伏見ふれあいプラザ2023	9/3	伏見区役所 (3階)
左京区民ふれあい祭り 2023	9/24	左京区役所 (2階)
右京区民文化交流会	10/28	太秦安井公園 (右京ふれあい文化会館前)
中京区ふれあいまつり 2023	10/29	中京中学校 (グラウンド・体育館)
令和5年度府民交流フェスタ	11/3	京都府立植物園
東山区民ふれあいひろば2023	11/4	東山区総合庁舎 (地下1階会議室)
ふれあい“やましな”2023区民まつり	11/23	山科中央公園

(3) 広報活動の展開

広報内容	期間	場所	備考
赤十字バナーの掲揚	4/17～5/22	七条通 (下堀詰町～茶屋町)	
各戸チラシの配布	4～5月	府内全域	地区・分区を通じて配布
市民しんぶん等による広報	4～5月	各地域での啓発	地区に依頼
ポスターの掲示	5月	J R 西日本 京都市営地下鉄 阪急電鉄の各駅 近畿日本鉄道	
立て看板の設置	5/1～31	支部	
レッドライトアッププロジェクト	5/8	京都府庁旧本館 舞鶴赤十字病院、 京都府赤十字血センター	
広報紙「赤十字きょうと」の発行	7月	会員等に送付	

広報内容	期間	場所	備考
テレビCM	通年	KBS京都 京丹波町ケーブルテレビ	
ラジオCM	通年	KBS京都、エフエム京都、 エフエム宇治、FMあやべ、 FMまいづる	
パネル展示	5/1～12	右京区役所	
	5/24～31	左京区役所	
	8/2	北区 鷹峯学区	
	9/6～8	京都府立嵯峨野高等学校	
	2/22～24	日本災害医学会総会学術集会	

(4) マスコットキャラクター「ハートラちゃん」出動状況

名称	期日	場所	備考
キッズセミナー	7/29	京都第一赤十字病院	
文化祭（赤十字運動の普及・啓発）	9/7	京都府立北嵯峨高等学校	
桂坂オータムフェスタ	11/3	桂坂小学校	



府民交流フェスタ～缶バッジ作成～



府民交流フェスタ～救護服体験～

(5) 学校、病院等における講義・研修

名称	実施日	内容	備考
京都第一赤十字病院 新入看護職員研修会 赤十字概論ⅡⅢ	4/7	Bangladesh南部避難民保健医療支援事業活動報告 ウクライナ人道危機における赤十字の活動 赤十字の基本原則と国際人道法	対面講義
京都第二赤十字看護専門学校 災害医療論（災害救護）	5/11	日本赤十字社と支部の役割と活動 日本赤十字社の救護活動（法的根拠、救護活動の範囲） 支部の事業	対面講義
日本赤十字秋田看護大学 国際看護学	5/15	赤十字の国際活動（ケニア地域保健強化事業・ Bangladesh南部避難民保健医療支援事業）	WEB形式
京都第二赤十字看護専門学校 災害医療論（国際活動）	5/19	国際赤十字・赤新月運動 東日本大震災での活動 日本赤十字社の国際活動（ケニア地域保健強化事業、 Bangladesh南部避難民保健医療支援事業）	対面講義
京都第一赤十字看護専門学校 看護学概論 広がる看護の活動領域	5/22	国際看護とは何か 健康と保健医療の世界的課題 国際協力のしくみ 国際看護活動の展開	対面講義
京都第一赤十字看護専門学校 災害看護論（国際活動）	9/27	国際赤十字・赤新月運動 国際救援と看護 赤十字の国際活動（ Bangladesh南部避難民保健医療支援事業）	対面講義
京都第一赤十字病院 グローバルヘルス	10/7	国内外の保健・医療・福祉・看護の動向 自施設に来院する外国人や施設の地域特性	対面講義
京都橘大学看護学部 国際看護学Ⅰ	12/7	赤十字のあゆみと国際人道法 国際救援の基本理念 赤十字国際活動（ケニア地域保健強化事業・ Bangladesh南部避難民保健医療支援事業、ウクライナ人道危機支援）	対面講義

(6) 学会発表

研修名	日時	会場	参加人数
第59回日赤医学会総会（発表） 「連盟主催ユース活動支援を活用した感染症による差別をなくすための絵本作成」 「ボランティアが赤十字水上安全法講師、救急法講師になった」	11/9～10	京都市勧業館みやこめッセ	2

資料

令和5年度の主な行事

赤十字大会の開催

項目	期日	場所	参加者数
全国赤十字大会	5月18日(木)	東京都・明治神宮会館	34

評議員会

実施日	場 所	議 案
6月15日(木)	ホテルグランヴィア京都	支部・施設の令和4年度決算等
2月16日(金)	京都府支部	支部・施設の令和6年度予算等

業務・会計監査

実施日	対象施設
6月6日(火)	京都第一赤十字病院、京都第二赤十字病院、舞鶴赤十字病院、 京都府赤十字血液センター、京都府支部

その他行事

実施日	内容	開催場所等
5月1日(月)～31日(水)	赤十字運動月間	京都府内一円
6月17日(土)	第4ブロック合同災害救護訓練	兵庫県
9月3日(日)	京都府総合防災訓練	亀岡市
10月12日(木) ～13日(金)	日赤紺綬・有功会会長協議会総会	広島県
10月19日(木)	有功会総会	京都市下京区
10月28日(土)	京都市総合防災訓練	京都市左京区
11月28日(火)	日本赤十字社京都府支部新社屋竣工式	京都府支部
12月1日(金)～25日(月)	「NHK海外たすけあい」運動	京都府内一円
12月9日(土)	「NHK海外たすけあい」街頭募金 キャンペーン	京都市 下京区、伏見区

表彰

表彰区分		表彰基準	個人 (人)	法人 (社・団体)	合計
活動資金	紺 綬 褒 章	500 万円以上 (個人) 1,000 万円以上 (法人)	1	0	1
	厚生労働大臣感謝状	100 万円以上 500 万円未満 (個人)	0	0	0
		300 万円以上 1,000 万円未満 (法人)			
	社資功労感謝状	金色有功章受章後 50 万円以上	0	0	0
	金 色 有 功 章	50 万円以上	4	1	5
	銀 色 有 功 章	20 万円以上	2	4	6
	支 部 長 感 謝 状	10 万円以上	0	0	0
	小計			7	5
役職	金 色 有 功 章	在職年数 6 年以上 他	0	0	0
	銀 色 有 功 章	在職年数 3 年以上 他	0	0	0
	小計		0	0	0
奉仕団員等奉仕者	業務功労感謝状	金色有功章受章後 活動年数 10 年以上	5	0	5
	金 色 有 功 章	活動年数 20 年以上	15	0	15
	銀 色 有 功 章	活動年数 15 年以上	19	0	19
	支 部 長 感 謝 状 2	活動年数 10 年以上	27	0	27
	支 部 長 感 謝 状 1	活動年数 5 年以上	54	0	54
	小計			120	0

役 職 員 名 簿

(令和6年6月1日現在)

京都府支部

支 部 長	西 脇 隆 俊
副 支 部 長	小 石 原 範 和
〃	奥 田 敏 晴
〃	吉 本 秀 樹
監 査 委 員	武 田 盛 治
〃	渡 邊 隆 夫
〃	土 井 伸 宏
顧 問	松 井 孝 治
事 務 局 長	岡 本 吉 弘
総 務 課 長	亀 永 和 彦
組織振興課長(兼)	亀 永 和 彦
事業推進課長	砂 野 高 士

京都第一赤十字病院

院 長	大 辻 英 吾
副 院 長	沢 田 尚 久
〃	大 澤 透
〃	上 島 康 生
事 務 部 長	綾 城 義 治
看 護 部 長	蘆 田 美 栄

京都第一赤十字看護専門学校

学 校 長 (兼)	大 辻 英 吾
副 学 校 長	小 林 尚 美
事 務 部 長 (兼)	綾 城 義 治

京都第二赤十字病院

院 長	小 林 裕
副 院 長	魚 嶋 伸 彦
〃	藤 原 浩 芳
〃	平 田 学
事 務 部 長	壺 内 賢 一
看 護 部 長	小 川 智 恵 美

京都第二赤十字看護専門学校

学 校 長 (兼)	小 林 裕
副 学 校 長	副 島 和 美
事 務 部 長 (兼)	壺 内 賢 一

舞鶴赤十字病院

院 長	片 山 義 敬
副 院 長	米 山 聡 嗣
事 務 部 長	西 田 宏 幸
看 護 部 長	奥 野 佐 千 子

京都府赤十字血液センター

所 長	堀 池 重 夫
事 務 部 長	坂 本 靖 之
事業推進部長	辻 田 千 博

評 議 員 名 簿

(令和6年6月20日現在)

地区名等	氏名	地区名等	氏名
北区	山本勝保	舞鶴市	鴨田秋津
	辻和男	八幡市	川田翔子
上京区	山田陽一	向日市	安田守
	柴垣隆雄	長岡京市	中小路健吾
左京区	戸川隆博	京田辺市	上村崇
	風間隨成	京丹後市	中山泰
	清水浩平	南丹市	西村良平
中京区	河邑明佳	木津川市	谷口雄一
	安孫子正孝	山城	前川光
東山区	高垣慶嗣		信貴康孝
	田島吉廣		西島寛道
山科区	◇澤田清一		西谷信夫
	吉井重光		山本篤志
下京区	小川原繁		馬場正実
	大竹辰夫		杉浦正省
南区	石原國男		平沼和彦
	高落秀男	南丹	畠中源一
右京区	市田悦万	丹後	山添藤真
	守屋忠敏	支部長選出	○◇栗山正隆
	森田眞利		◇奥田光治
西京区	関谷一男		◇加藤厚
	田畑たつ子		◇安道光二
伏見区	武部太郎		馬場健
	社務厚子		平野正人
	松本勝雄		俣政和
宇治市	松村淳子		足達靖彦
亀岡市	桂川孝裕		松本尚子
綾部市	山崎善也		(欠員)
福知山市	大橋一夫		
宮津市	城崎雅文		

(順不同・敬称略) 本社役員等：○理事 ◇代議員 定数58名

日本赤十字社京都府支部 地区・分区組織図

令和 6年 4月 1日現在

日本赤十字社京都府支部
(支部長 西脇隆俊)

京都市内	11地区
京都市を除く市	14地区
府振興局	3地区 11分区
計	28地区 11分区

京都市地区本部
(本部長 京都市副市長)

北区地区 (北区長)	伏見区地区 (伏見区長)
上京区地区 (上京区長)	西京区地区 (西京区長)
左京区地区 (左京区長)	右京区地区 (右京区長)
中京区地区 (中京区長)	南区地区 (南区長)
東山区地区 (東山区長)	下京区地区 (下京区長)
山科区地区 (山科区長)	南丹市地区 (南丹市長)
京丹波町地区 (京丹波町長)	京丹波町地区 (京丹波町長)
宇治市地区 (宇治市長)	宇治市地区 (宇治市長)
亀岡市地区 (亀岡市長)	八幡市地区 (八幡市長)
綾部市地区 (綾部市長)	京田辺市地区 (京田辺市長)
福知山市地区 (福知山市長)	京丹後市地区 (京丹後市長)
宮津市地区 (宮津市長)	南丹市地区 (南丹市長)
舞鶴市地区 (舞鶴市長)	木津川市地区 (木津川市長)
城陽市地区 (城陽市長)	14市 14地区
向日市地区 (向日市長)	
長岡京市地区 (長岡京市長)	
向日市地区 (向日市長)	
長岡京市地区 (長岡京市長)	
八幡市地区 (八幡市長)	
京田辺市地区 (京田辺市長)	
京丹後市地区 (京丹後市長)	
南丹市地区 (南丹市長)	
木津川市地区 (木津川市長)	

宇治市地区 (宇治市長)	宇治市地区 (宇治市長)
亀岡市地区 (亀岡市長)	亀岡市地区 (亀岡市長)
綾部市地区 (綾部市長)	綾部市地区 (綾部市長)
福知山市地区 (福知山市長)	福知山市地区 (福知山市長)
宮津市地区 (宮津市長)	宮津市地区 (宮津市長)
舞鶴市地区 (舞鶴市長)	舞鶴市地区 (舞鶴市長)
城陽市地区 (城陽市長)	城陽市地区 (城陽市長)
向日市地区 (向日市長)	向日市地区 (向日市長)
長岡京市地区 (長岡京市長)	長岡京市地区 (長岡京市長)
八幡市地区 (八幡市長)	八幡市地区 (八幡市長)
京田辺市地区 (京田辺市長)	京田辺市地区 (京田辺市長)
京丹後市地区 (京丹後市長)	京丹後市地区 (京丹後市長)
南丹市地区 (南丹市長)	南丹市地区 (南丹市長)
木津川市地区 (木津川市長)	木津川市地区 (木津川市長)
14市 14地区	

山城 (乙 訓) 地区 (山城広域振興局長)	3 振興局 3 地区 (5保健所)	大山崎町分区
山城 (山城北) 地区 (山城広域振興局長)	南丹地区 (南丹広域振興局長)	久御山町分区、井手町分区、宇治田原町分区
山城 (山城南) 地区 (山城広域振興局長)	丹後地区 (丹後広域振興局長)	笠置町分区、和束町分区、精華町分区 南山城村分区
南丹地区 (南丹広域振興局長)		京丹波町分区
丹後地区 (丹後広域振興局長)		伊根町分区、与謝野町分区
3 振興局 3 地区 (5保健所)		11 町村 11 分区

施設一覽

■ 日本赤十字社京都府支部

〒602-8044

京都市上京区下立売通油小路西入東橋詰町178 TEL 075(468)1182

ホームページ <https://www.jrc.or.jp/chapter/kyoto/>

■ 京都第一赤十字病院

〒605-0981

京都市東山区本町15-749 TEL 075(561)1121

ホームページ <http://www.kyoto1-jrc.org/>

■ 京都第一赤十字看護専門学校

〒605-0981

京都市東山区本町15-749 TEL 075(533)1269

ホームページ http://www.kyoto1-jrc.org/vocational_school/

■ 京都第二赤十字病院

〒602-8026

京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町355-5 TEL 075(231)5171

ホームページ <https://www.kyoto2.jrc.or.jp/>

■ 京都第二赤十字看護専門学校

〒602-8015

京都市上京区衣棚通出水下ル常泉院町133-3 TEL 075(441)2007

ホームページ <https://www.kyoto2.jrc.or.jp/nursing/>

■ 舞鶴赤十字病院

〒624-0906

舞鶴市字倉谷427 TEL 0773(75)4175

ホームページ <https://maizuru.jrc.or.jp/>

■ 京都府赤十字血液センター

〒612-8451

京都市伏見区中島北ノ口町26番地 TEL 075(603)8800

ホームページ <https://www.bs.jrc.or.jp/kk/kyoto/index.html>

四条出張所（献血ルーム四条）

〒600-8006

京都市下京区四条通柳馬場西入立売中之町99 四条SETビル5F

TEL 0120(640)388

京都駅前出張所（献血ルーム京都駅前）

〒600-8216

京都市下京区烏丸通七条下ル東塩小路町735 京阪京都ビル6F

TEL 0120(569)356

伏見大手筋出張所（献血ルーム伏見大手筋）

〒612-8053

京都市伏見区東大手町763 若由ビル1F TEL 0120(731)350

福知山出張所

〒620-0853

福知山市長田野町1-31-1 TEL 0773(27)6630

令和5年度事業報告書

発 行 令和6年6月
発行元 日本赤十字社京都府支部
住 所 京都府京都市上京区下立売通油小路西入東橋詰町178
TEL 075-468-1182
FAX 075-468-1789